

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-47	高等学校	福祉	社会福祉基礎	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
7実教	福祉 701	社会福祉基礎		

## 1. 編修の基本方針

社会福祉の理念や人間の尊厳と自立、人間を多角的に理解するためのコミュニケーション、社会福祉思想の流れや生活を支える社会保障制度などについて、体系的・系統的に理解できるように編修した。また、社会福祉に関する課題を発見し、福祉社会の創造と発展に主体的・協働的に取り組む態度を養えるよう、考えたり、調べたり、他者と話しあったりするための資料やテーマを豊富に掲載した。学習要素にかかわる事例を本文やコラムで取り上げることで、高校生にとって身近に感じられ、具体的なこととして理解できるようにし、基礎的・基本的な知識が理解できるよう留意した。「社会福祉基礎」は、福祉科、総合学科の福祉系列、普通科の福祉コースなど、さまざまな学校で履修されることをふまえ、どの学校の生徒にも使いやすいように配慮した。

## 2. 対照表

### ●全体的な特色

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
見開き2ページ展開	・各節はすべて見開き2ページとし、節の冒頭にねらいを示すことで、学習内容に対する興味・関心を喚起させ、自ら学ぶ姿勢を養えるようにした(第2号)。	全般
スタディ	・実践的なワークを通して、生徒が実際に考え行動することで、真理を追究する態度を養うことができるよう配慮した(第1号)。さらに、自ら実践し解決する能力を伸ばし、創造性を培うことができるよう配慮した(第2号)。 ・福祉や介護に関する職種や資格を紹介することにより、将来の職業選択の参考になるよう配慮した(第2号)。	p. 32-33, 34, 162-163, 190, 214-215など  p. 164-165など
コラム	・具体的な内容や事例を通して、幅広い知識と教養を身につけ(第1号)、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようにした(第2号)。	p. 11, 25, 27, 92, 107, 109, 144, 177など
資料	・本文の理解を助ける資料を掲載し、幅広い知識と教養を身につけることができるようにした(第1号)。	p. 18, 21, 24, 29, 66, 99, 117など

豆知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の理解を深める豆知識を掲載し、幅広い知識と教養を身につけることができるようにした（第1号）。</li> </ul>	p. 15, 23, 39, 50, 81, 136など
考えてみよう 調べてみよう 話しあってみよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>本文の内容に関するテーマについて深く考えたり、グループで話しあったりすることにより、自他を重んじ、協力して社会の形成に参画する態度を養うことができるようにした（第2・3号）。</li> </ul>	p. 9, 11, 15, 19, 20, 22, 24, 25, 29, 97など

## ●各編における特色

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1編 社会福祉の理念と意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>食習慣、喫煙、飲酒などの生活習慣が病気の発症に大きく関わっていることを取り上げ、自分自身の生活習慣を見直すことができるよう配慮した（第1号）。</li> <li>高齢者や障害者など福祉サービスを利用する人々のQOL（生活の質、生命の質、人生の質）の維持・向上をめざして支援をすることを取り上げた（第4号）。</li> <li>福祉社会の構築に向けて、行政・福祉専門職に加えて、社会を構成するさまざまな人々の主体的な活動や参加が必要であることを取り上げた（第3号）。</li> </ul>	p. 14-15  p. 19  p. 29
第2章 社会福祉の歴史と次代の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸外国の社会福祉では、EPA（経済連携協定）にもとづく外国人介護福祉士候補者の受け入れや外国人技能実習制度により介護の仕事に従事する外国人について取り上げた（第5号）。</li> <li>日本における社会福祉の歴史では、宗教家や篤志家により行われた慈善活動が現在の社会福祉の発展につながっていることを取り上げた（第5号）。</li> </ul>	p. 49  p. 50-53
第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会福祉・社会保障制度を学び、さまざまな課題を持っている人たちがいることへの理解を深めることにより、公共の精神を養えるようにした（第3号）</li> <li>児童虐待、高齢者虐待、障害者虐待、DVなどを取り上げ、虐待を防止するための支援が必要であることを理解できるようにした（第4号）。</li> </ul>	全般  p. 90, 91, 116, 138
第4編 人間関係とコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>傾聴・受容・共感の姿勢を学ぶことにより、他人を思いやる気持ちなどを培うことができるようにした（第2号）。</li> <li>社会福祉・介護に関わる職業である社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士等さまざま職種や資格を紹介することにより、将来の職業選択の参考になるよう配慮した（第2号）。</li> </ul>	p. 172-173  p. 184-185

<p>第5編 地域福祉の進展と 多様な社会的支援 制度</p>	<p>・高校生が実際にボランティア活動をしている写真を掲載することにより、ボランティア活動に関心をもてるように配慮した（第3号）。</p>	<p>p. 205</p>
---	---	---------------

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第五十一条の各目標を達成するため、以下の点に留意し、本書を編修した。

学校教育法第五十一条	
<p>一 義務教育として行われる普通教育の成果をさらに発展拡充させて、豊かな人間性、創造性及び健やかな身体を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校での公民や歴史・家庭科で学習した内容を発展させるとともに、中学校でのボランティア活動や高齢者・障害者との交流体験などにより福祉に興味を持った生徒が実践的に学び続けられるようにした。</li> </ul>
<p>二 社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉専門職の役割が重要であるとともに、地域住民をはじめ社会を構成するさまざまな人々の主体的な活動や参加が欠かせないことが理解できるようにした。</li> <li>・将来の職業として社会福祉や介護の専門職になる場合の参考となる教材を盛り込んだ。</li> </ul>
<p>三 個性の確立に努めるとともに、社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律や制度などを学び、それらの知識を深めるとともに、それらを通して今後の生活の課題解決に向けて考え、行動できる力を養えるようにした。</li> </ul>

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-47	高等学校	福祉	社会福祉基礎	
※発行者の 番号・略称 7実教	※教科書の 記号・番号 福祉 701	※教科書名		
		社会福祉基礎		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ■ 紙面構成と表現

- (1) 本文は編・章・節で構成し、各節を見開き2ページ展開とした。各節に学習のねらいを示すことにより、生徒が学習内容に対する興味・関心を持ち、要点を正確に把握できるよう配慮した。
- (2) 図や写真など豊富な資料を掲載し、学習内容の理解を深められるよう工夫した。
- (3) 本文にはユニバーサルフォントを使用し、読みやすくなるよう配慮した。また、外国人生徒が増えつつある現状と多様性への対応を考慮して、原則として小学校学習指導要領の学年別漢字配当表の漢字以外にはふりがなをつけて、多様な生徒が理解できるようにした。

### ■ 内容上の工夫

- (1) 「考えてみよう」「調べてみよう」「話しあってみよう」などを必要な箇所に入れ、主体的・対話的で深い学びに向けた授業で活用できるよう配慮した。
- (2) 「資料」として法律などを掲載し、「コラム」として事例を取り上げるなど、理念や制度を具体的に理解できるようにした。
- (3) 専門用語などについては側注で解説し、理解を深められるようにした。
- (4) 「豆知識」として、本文の内容の理解をさらに深められるようにした。
- (5) 編とびらには、各章のねらいと「〇×クイズ」を入れ、生徒が学習内容に対して興味・関心を持てるよう工夫した。
- (6) 各編末に編末問題を掲載し、学習した内容の定着をはかったり、さらに知識を深めたりできるようにした。
- (7) 各編末に、「調べてみよう」「やってみよう」などの独立したページ「スタディ」を入れ、理解を深めたり、生徒が自ら学んだりすることができるよう工夫した。
- (8) 巻末に日本国憲法や法律、福祉年表などを入れ、知識が深められるようにした。また、福祉に関する資格を取得する方法を掲載し、職業教育の一助となるよう配慮した。
- (9) 前見返しは、「社会福祉基礎」で学ぶことの全体像がつかめるように、「人の一生と社会保障制度」を掲載した。

## ■ 配列

(1) 配列は、生徒の理解しやすさを考慮し、学習指導要領の配列から一部変更をした。編の配列は、社会福祉や社会保障の制度を理解してから社会福祉援助活動を学べるよう、「人間関係とコミュニケーション」は第4編とした。地域福祉の進展については、社会福祉や社会保障の制度を理解した後に学べるよう、歴史の第3編の中ではなく、第5編とした。

(2) 介護保険制度は、高齢者福祉との関わりが深いため、年金や医療保険などを扱う章ではなく、高齢者福祉と同じ章で扱うこととした。

(3) 参照ページを適宜掲載することにより、学習内容の重複を避けるとともに、理解を深められるようにした。

## ■ 各編について

第1編 社会福祉の理念と意義： 私たちの生活に福祉が関わっていることが理解できるよう、写真などで例を示した。また、生活と福祉に関わる変化は統計グラフで視覚的に示した。社会福祉に関する理念は、事例を取り上げ、生徒に考えさせるとともに理解を深められるようにした。

第2編 社会福祉の歴史と次代の展望： 編の冒頭で社会福祉思想の流れをまとめて記述してから、諸外国における社会福祉と日本における社会福祉に分けて記述した。

第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度： 章の配列については、年齢的に身近な子ども家庭福祉から学習を進められるようにするとともに、障害者手帳を持っている高齢者がいることを考慮し、障害者福祉の次に高齢者福祉を学ぶ配列にした。また、生活保護は最後のセーフティネットと呼ばれる制度であるため、障害者福祉や高齢者福祉より後に学ぶ配列にした。

第4編 人間関係とコミュニケーション： コミュニケーションをとることが楽しいと感じられるよう、一部にカラーの写真やイラストを用いた。

第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度： 地域福祉の進展において、ボランティアが新しい制度を生み出す原動力になるという視点をもつことの重要性について記述した。それとともに高校生のボランティア活動の写真を掲載し、ボランティア活動についての「調べてみよう」をいれることにより、自らボランティア活動に取り組む意欲につながるようにした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 社会福祉の理 念と意義	第1章 生活と福祉	(1)ア	p. 8-17	18
	第2章 社会福祉の理念	(1)イ	p. 18-23	
	第3章 人間の尊厳と新たな福祉社会の創造	(1)ウ	p. 24-29	
	編末問題	(1)ア・イ・ウ	p. 30-31	
	スタディ	(1)ア・イ・ウ	p. 32-34	
第2編	第1章 諸外国における社会福祉	(3)ア	p. 36-49	26

社会福祉の歴史と次代の展望	第2章 日本における社会福祉	(3)イ	p. 50-67	
	編末問題	(3)ア・イ	p. 68-69	
	スタディ	(3)ア・イ	p. 70-72	
第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度	第1章 社会保障制度の意義と役割	(4)ア	p. 74-79	66
	第2章 子ども家庭福祉	(4)ウ	p. 80-95	
	第3章 障害者福祉	(4)オ	p. 96-117	
	第4章 高齢者福祉と介護保険制度	(4)エ	p. 118-139	
	第5章 生活支援のための公的扶助	(4)イ	p. 140-147	
	第6章 国民の生活を支える社会保険制度	(4)カ	p. 148-159	
	編末問題	(4)ア・イ・ウ ・エ・オ・カ	p. 160-161	
	スタディ	(4)ア・イ・ウ ・エ・オ・カ	p. 162-166	
第4編 人間関係とコミュニケーション	第1章 コミュニケーションの基礎	(2)イ	p. 168-171	14
	第2章 支援における人間関係の形成	(2)ア	p. 172-175	
	第3章 社会福祉における支援活動の概要	(2)ウ・(4)カ	p. 176-185	
	編末問題	(2)ア・イ・ウ	p. 186-187	
	スタディ	(2)ア・イ・ウ (4)カ	p. 188-190	
第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度	第1章 多様な社会的支援制度	(4)カ	p. 192-201	16
	第2章 地域福祉の進展と地域の将来	(3)ウ	p. 202-211	
	編末問題	(3)ウ・(4)カ	p. 212-213	
	スタディ	(3)ウ・(4)カ	p. 214-215	
巻末資料			p. 216-235	
			計	140